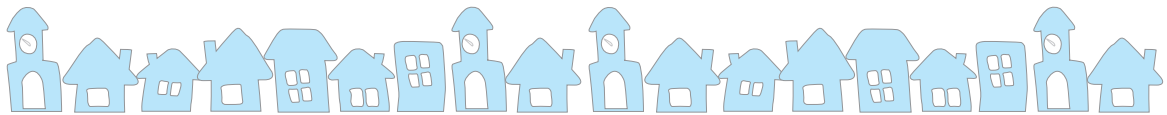


# キラリ★ひと言

## 新市・議会に対する意見など それぞれの思いを語っていただきました



### 水とみどりのまちづくり

犬飼町山内

安藤 辰美

5町2村が1つになって、今年の集中豪雨の日田玖珠市長・市議選を経て執行体制も定まり、これからいよいよ新市の試練の歴史が幕を開けた訳であるが、ひとまず順調な滑り出しに成功したものと市民一同安堵しているのではないのでしょうか。

りません。

さて、ご承知のとおり全国的に少子高齢化の問題、後継者不足の問題、過疎化の問題は依然として歯止めのかからない問題であり、とりわけ基幹産業の農林業にとつては深刻であり、地域社会の崩壊の危機感すらあります。

豊後大野市は、幸いにして昔から天の時、地の利、人の和を尊び、備えもつており、大自然の中祖母傾山系の豊かな緑と、そこを源として広い台地を潤す、日本一を誇る清流大野川など多くの資源や伝統文化の華に事欠きません。

このような地に生まれ、育ち、暮らしを立てることに自信と誇りを持ち、さらに励みを覚えるものであります。

また、本県における農業の主要産地としても位置づけられ、農業基盤整備と関連施設整備が施され、高度土地利用体系による生産性の向上と、安全・安心のモノ作りが期待されております。

古来、先人達が宮々として守り、創造し、育んできたこれら宝の遺産をこれからも未来を拓く糧として、自然の営みの中で、自然とともに共存のできる豊かなまちづくりに、市民、老若男女一体となった取り組みを願ってやみません。

木を育て、林にしよう、森にせよ。

山林の荒廃が、かつてない大災害をもたらすことは、

水とみどりのまちづくり。

# キラリ★ひと言



## 合併に思うこと

朝地町下野

渡辺 繁子

新市が誕生して3カ月余り、急な原稿依頼には戸惑いましたが、日々の暮らしの中で思っていることを書いてみました。

まず、合併の場合、大きな市となるとどうしても中心に重点がおかれ、周辺部はあらゆる面で差がでるのではないかと不安があります。そして周辺部に進んでいる過疎化が一層進んでいくことにつながるのではないかと心配をしています。また消防についてですが、竹田広域消防署の管轄が変わる場合、消防車や救急車が来るまでの時間がとても問題だと思ひ、不安を感じています。

次にバスのことですが、

各地から三重町に直通のバスがないことです。乗り換えて市役所に行くのは不便で、直通するバスができればと願っています。

最後に合併したばかりで新市の基礎づくりに行政、議会、住民と頑張つて取り組んでいます。この文化財の多い恵まれた豊後大野市で伝統文化を継承し、かつての町村で行っていた特色ある行事を一層盛り上げ、それを地域の核として自慢できるものにしていくことも大事だと思います。ふるさと豊後大野市がこれから特色ある市として発展することを期待し、大いに希望を持っています。



## 自分で発信

清川町伏野

和田 鈴香

村民から市民に変わりましたが生活そのものは何も変わっていません。

しかし、日が経つにつれ意識が少しずつ変わりました。市は遠いような気がします。

自分で出来ること、仲間同士で、できることは自分たちでやらなければいけないのだということの意識が変わりつつあります。

市に何かを頼むとしたら市民の声を聞いてくれる所、機会を多くしてほしいと思います。

私は現在農業をしながら「清劇うたひめ」という劇団に所属し活動しています。

平成15年秋に発足し、2年たらずのうちに30回程度の公演をしました。年に1度の定期公演と不定期に老人ホーム、病院、デイサー

ビスセンターなどに出向き皆さんに大変喜ばれています。

8月28日には県下で2座選ばれて国東町のアスト国東で公演をします。練習は厳しくきついですが舞台上立ち、観衆を見ると演技の出来る喜びで忘れてしまいます。

各地より多くの公演依頼がきています。要請があればどこへでもかけつけます。終わりに市議会へお願いがあります。スタンドプレーはやめてほしいと思ひます。周りの意見や考え方を聞く耳を持ってください。そして市民の声の代弁者として伝えてほしいと思ひます。豊後大野市が発展するように私たちも頑張ります。



## 夏の熱い想い

三重町上赤嶺  
赤嶺 千代

暑くなりました。常と異なることを多く感じる夏です。なぜか気持ちの上で違うのです。ふるさとが「豊後大野市」になりました。

激しく熱い政論の末、誕生した新市です。市長・市議選ともに、候補者の主義主張を真剣に聴き投票しました。それらの想いを、そっくり包み込んだ夏が来たのです。

合併の中心目標は、財政を立て直し、心豊かに生活できる新市を創ることでした。市民は、その具体的な方策や執行の在り方を、大いに注視しています。

私の周りでは、最優先課題として財政立て直しに取り組むことを、多くの方が

強く望んでいます。

そのためには新規事業を一切やめるとか、各町の既存の施設、設備を智恵と工夫で最大限有効活用するなどの声が多数です。但し安易に住民サービスを低下させたり、福祉や教育を犠牲にするようなことは欲しません。

十分に市民の声を聴き、常に市民本意の立場を忘れない、真摯な取り組みに努めてくださるよう執行部や議員の皆さんに切望します。教育施策にも重点を置いて、市の将来を担う人材育成に努め、彼等のために、誰もが誇れる「豊後大野市」を育てて残したいものです。



## 活力ある新市に期待

千歳町前田  
戸上 博之

深刻な過疎化・高齢化が進み、若者の流出・核家族化で、子どもが減少し、小・中・高校の統廃合。これと言った人口増が見込めず、最善策がないまま平成8年に、全国初の試みである「大野広域連合」が発足し、本年、紆余曲折の中、新市が誕生しました。

過疎からの脱却に向け、伝統・文化のある地域に新たな可能性を求め、スケールの大きな連携をめざし、合併で地域活性化が始まりました。

生活基盤は、道路・水道・福祉などですが、それは職場（雇用）の確保で、次世代家族の定住ができ、過疎の解消ができると考えます。

高規格道路の整備に伴い、

工業立地環境が大幅に向上することを踏まえ、将来有望な国際競争力のある企業誘致により、若者の流出を止め、消費拡大で地域商店街が活性化し経済効果が上がり、税収が増加し市民が潤い市が発展すると考えます。

首長や市議にお願いします。NPO法人やボランティア団体などと連携し、身体的障害者児に療護授産施設の建設や、地域商店街の活性化、河川的环境保護に下水道整備、交通安全対策、国体終了後も観光客呼び込みを視野に入れた道路整備、ひっ迫する財政を改善し、効率的な予算編成と経費の削減で財政運営を推進してください。

# キラリ★ひと言



## 住民の切なる思い

大野町宮迫  
吉藤 孝

個性を持った町村が1つの自治体になるには課題が山積し、新市議会にとつては多くの難題を抱えていることと思います。

しかし、「新市創造」の夢に向かって邁進されている市議の皆様には深甚の敬意と大きな期待をするものがあります。

- ① 国、地方併せて7百兆円を超える借金解消の1つの手段とも言える「今回の合併」は、過去の合併とは趣を異にしていることは万人承知であります。それだけに市政運営の良否は市民生活を大きく左右し、「地域」の存亡に関わる重大事です。国や県の合併方針では、
- ② 地域の一体的整備
- ③ 市町村の行財政基盤の強化
- ④ 社会福祉など身近な行政

サービス  
④ 将来にわたる地域の持続的な発展

を主たる柱に据えています。が、この4カ月間で私も住民が感じているのは、当初心配したとおり、補助金などを含む福祉サービスと地域自治の切り捨てです。合併の柱の②「行政基盤の強化」が大企業による「大型公共工事の受け皿」になれば住民生活は破壊されます。

市議会に対する市民の願いは、国や国会議員の手足ではなく市民の目線での議会活動と党派・会派など集団の数の支配ではなく独立した政治活動です。重要な時で苦労は多いと思いますが、「明日の豊後大野市発展」のためのご奮闘をお願いします



## 子どもが夢を持てる市に

緒方町知田  
周藤 真智子

10年ぶりに第2子を出産し育児、家事、仕事に奮闘中の毎日を送っています。10年前に比べるといろいろなことが違い、便利な点、まだまだ解決してほしいことがあります。

子どもたちが思いつき遊び場所がないこと、子育て中の母親たちが気軽に立ち寄れる場所がないこと、たとえば、赤ちゃん連れでは何をすることもゆつくりできないので、お母さんがリラックスできる時間を持つような所があればいいと思います。正直、私もそういう場所がほしいです。

と育児できる環境がないとお母さんたちも安心して産めないし、子育ても楽しくないと思います。

また、親が時間のゆとりを持った日々を送り、子どもたちに接していれば、問題になっている言葉遣いなど、改善できることがたくさんあると思います。

現実的には、なかなか難しいですが…。

合併してあまりピンとこない日々を過ごしていますが、子どもたちが夢を持てるまちづくり、市づくりをしてほしいと願っています。

時間保育や急病の時の利用できる所、少子化と言え